

市民文化スポーツ局

一般会計要求総額 15,689百万円
(対前年度 +31.7%)

【平成31年度 予算要求の経営方針】

市民文化スポーツ局は、「人にやさしく元気なまちづくり」の実現に向けて、以下の4点について重点的に取り組み、市民主体のまちづくりを推進します。

- ◎ 文化芸術を活かした創造都市・北九州の実現
- ◎ スポーツを通じたまちのにぎわいづくりの推進
- ◎ 安全・安心を実感できるまちづくりの推進
- ◎ 市民との協働・連携の推進

【平成31年度 予算要求の基本的な考え方】

(新)：新規事業、(拡)：拡充事業、(継)：継続事業

文化芸術を活かした創造都市・北九州の実現 要求額 4,267百万円(対前年度 +10%)

「東アジア文化都市2020北九州」開催に向けた機運を醸成しながら、開幕式典に取り組みます。
また、漫画や映画などメディア芸術に関する事業をはじめ、地域資源を活かした魅力ある事業を引き続き実施し、文化芸術による「創造都市・北九州」の実現に取り組みます。

- ・(拡) 東アジア文化都市2020北九州推進事業
- ・(新) 小倉祇園太鼓400周年記念・文化財普及啓発事業
- ・(拡) 北九州市東田地区ミュージアムパーク創造事業
- ・(拡) 北九州メディア芸術創造拠点推進事業 など

スポーツを通じたまちのにぎわいづくりの推進 要求額 5,385百万円(対前年度 +116%)

スポーツを「する」、「みる」、「創る・支える」市民の増加を目指し、国際スポーツ大会等の誘致、東京オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地誘致、市民参加型スポーツイベント等の実施、トップアスリートの育成や競技スポーツの支援などに積極的に取り組みます。

- ・(拡) ラグビーW杯ウェルズキャンプ受入・交流プログラム推進事業
- ・(新) なでしこジャパン国際親善試合開催事業
- ・(新) 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等実施事業
- ・(継) 桃園市民プール(室内)整備事業 など

安全・安心を実感できるまちづくりの推進 要求額 508百万円(対前年度 +3%)

北九州市安全・安心条例に基づき、自主防犯活動の活発化を図るとともに、安全・安心に関する取り組みを市内外へ発信します。また、防犯灯の充実や防犯カメラ設置支援のほか、警察等と連携して暴力団排除に取り組みます。

- ・(継) 日本トップクラスの安全・安心なまちづくり関連事業
- ・(継) 暴力追放運動の推進
- ・(継) 防犯カメラ関連事業
- ・(継) 消費者啓発の推進 など

市民との協働・連携の推進 要求額 5,529百万円(対前年度 +10%)

市民に地域コミュニティや協働の重要性の理解を求めながら、主体的な地域づくりや、市民の学習活動の支援、地域活動に参画する人づくりを進めます。また、地域活動の拠点である市民センターの充実を図るとともに、マイナンバーカードの普及に取り組みます。

- ・(継) 地域コミュニティ活動の推進
- ・(継) 市民センターの充実
- ・(継) マイナンバーカード関連事業
- ・(継) 八幡西生涯学習総合センター折尾分館移転事業 など

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成31年度に実施することが確定しているものではありません。